

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

「風のようによりそって
～命のバトンを受けとる看取りのこころ～」

- ▼日時 8月6日(金) 19時～20時30分
- ▼講師 NPO法人なごみの里 理事長 柴田久美子氏
- ▼参加費 1,000円(高校生以下無料)
- ▼申込締切 8月2日(月)
- ▼問合せ 町教委社会教育課 (☎22-3834)

「平和を願うコンサート
～沖縄と矢白別と当別をつないで～」

松平晃さんのトランペット演奏とレディース・ハーモニーの美しい歌声をお楽しみください。

- ▼日時 8月8日(日) 19時～21時(開場17時)
- ▼入場料 無料
- ▼問合せ 当別9条の会 (☎23-3710)

当別花卉生産組合 切り花品評会

- ▼日時 8月21日(土) 13時～
- ▼内容 切り花の展示、展示品の即売会
- ▼主催・問合せ 当別花卉生産組合 (☎26-2101)

「ふくろう展&ふれ愛フェスタ」

ふくろうグッズの展示販売や幼稚園と小中学校生のふくろう絵画展、八田美津氏の創作人形展も開催されます。先着300名様には森の絵はがきをプレゼント。

- ▼日時
9月11日(土) 10時～17時、12日(日) 10時～15時
- ◆12日(日)には本物のエゾフクロウがやってくる！
- また、ふくろうのまちに住むアーティスト達(関ヒトシほか)が出演するふれ愛フェスタコンサートも開催されます。時間は17時開場、17時30分開演。入場料は前売1,000円、当日1,200円、小中学生500円です。ぜひお越しください！
- ▼主催 当別ふくろうの会
- ▼問合せ 大津 (☎23-2730)

◆お知らせ◆

ふれあい倉庫とFIKAの情報は、町民ポータルサイトのブログで随時更新しています。ぜひご覧ください！

▼町民ポータルサイト

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

- ▼問合せ ふれあい倉庫 (☎27-6600)
- FIKA (☎27-5388)
- 商工課 (☎23-3129)

続

町長の日記

平成22年7月11日(日)

7月7日から9日まで全国町村下水道推進大会が和歌山県高野町で開催された。

私は全国の副会長なので朝6時に自宅を出て関西空港から南海電鉄で和歌山県の美しい柿農園や杉山を見ながら、やがて深い渓谷に入り極楽(ごくらく)駅に着いた。そこからはケーブルカーで高野山(こうやさん)駅に着いたが深い谷底から来る空気はさすがに厳粛な気配だった。

1200年以上も昔に弘法大師が開いた聖地に私はわずか6時間ほどで着いた事になる。

霊峰高野山に、人口は僅か4000人だが、寺院が百以上もある高野町と言う町がある。赤いポストや古民家風のレトロな警察署があり静かな街並みが続いていた。みやげ店や食事処、喫茶店があり、銀行や大学まであり、裏通りにはコンビニやマンションもあったが掃き清められた静かな通りを歩いていると都会とは違う時間の流れを感じた。

海拔数百mの高野町は参詣者が増えるにつれ、し尿放流で伝染病が発生した為に、昭和の初期にすでに下水道が竣工され、今では年間100万人以上の観光客が来ているらしい。

今日は、旧東裏小学校で第3回亜麻まつりが催された。昨年、農水省から「美の里づくりコンクール」で当別亜麻生産組合が特別賞を受賞したので、農政ジャーナリストでもある女優の浜美枝さんが来られて私と対談してくれた。

審査委員でもあった浜さんのお話によると、当別の「美の里づくり」は亜麻を加工する企業と、農家の伝統と行政の取組みが高く評価されたとの事だった。対談しているうちに「朝咲いて昼には散ってしまう」はかない亜麻の花が残す命の實がサプリメントな特産品となり、当別の魅力を増してくれそうな気がしてきた。

当別太に「お大師さん」と呼ばれている弘法大師の小さな祠(ほこら)があるが、私の母が子供の頃、お大師さんのお祭に上級生に連れられて、たった2つのお餅をもらうのに1時間も歩いて行って、それを遠くの畑で働いている親に見せにいったと聞いた事があったが、町に美しさをつくるには高野町のように地域の歴史とか、そこに住む人にちょっとした思想的なものが不可欠だと思った。

当別町長泉亭俊彦